

令和2年度 大田区立道塚小学校 自己評価 報告書

令和3年3月12日

○ 本校の概要

昭和13年開校 開校82年
 地域ぐるみで子供を育てる教育活動が継続している。スクールサポート道塚の力が発揮されている。地域人材を活用した体験活動を重視している。
 ○令和2年・3年度 大田区教育研究推進校 研究主題「新たな知を創造する児童の育成を目指して 未来ものづくりのための カリキュラム開発1年次」
 ○児童数 574名 18学級

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもへの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が80%以上	4	○ICT研修を行うことにより、教員が授業中にタブレットなどを活用する場面が増えている。3年生以上で情報の授業を履修し、児童にタブレットの基本操作を学ばせている。 ○各学年、専科が研究授業を行うことにより、「未来ものづくり」のキャリア開発が進められている。また、地域の会社や工場などに積極的に足を運び、授業の協力を得られている。	A	9	・登校時の子どもたちが楽しそうです。 ・これまで数に限りがあったタブレット、「いつ使える?」「友達と協力して使おう」まずは、そこから先生方のご苦労を感じていました。ご指導、感謝いたします。これからは、一人一台のノートパソコンで、子どもたちの活用能力は急速に上達しそうです。今後、不登校の子どもたちのコミュニケーションやオンライン授業などにも出番があるのでしょうか。地域のコミュニケーションもICT化が必要ですね。その時は先生は子どもたちに先生になってもらいたいです。 ・地域の特徴を生かした研究授業を評価いたします。 ・このような社会環境の中で何回も学校に足を運ぶことができず残念でしたが、タブレットの基本操作を覚えるのが早く感じました。タブレット授業が増えることにより、先生方の子どもたちとの接し方がより良くなることを望みます。 ・室内で行うことは充実していたのではないかと考えられます。
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	3:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が75%以上					
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:設置教室を使用する全正規教員が週1回以上活用した。 3:80%以上の正規教員が週1回以上活用した。 2:60%以上の正規教員が週1回以上活用した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が60%未満					
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%以上					
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が60%未満					
		研究推進校として、「おおたのものづくり」を生かした校内研究授業を実施しカリキュラム開発をする。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%未満					
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケートによる「子供たちにとって分かりやすい授業をしている」への満足度が80%以上	4	○大田区学習効果測定で算数科での上昇がみられる。昨年度までの「主体的で、対話的で、深い学び」の研究の実践がなされている。 ○図書館での貸出し冊数を2冊までとした。教科だけでなく、ものづくりの資料を団体貸出するなど、各学年で図書資料を活用することが増えている。 ●今年度は、臨時休業等があり、ステップ学習チェックシートなど計画的に活用できなかった。	A	7	・今年度は授業を見ることができなかった。しかし、昨年度とは、変わってよいと思います。 ・研究授業でも図書さんを活用していることを学校のHPで知りました。ICT情報と同時に図書資料の充実も大切ですね。 ・早速、昨年度までの研究授業の成果が測定で表れたことは素晴らしいと評価いたします。 ・一人一人に合った授業ができ、子どもたちが授業に積極的に参加しているように感じます。 ・先生方の努力に感謝いたします。 ・学校から子どもたちの姿が消えた時期は大変胸が痛みました。そして、低学年が栽培していたチューリップは見事に咲き、誰も見ないまま散りました。学校再開前、先生方が児童の植木鉢の植え替え作業をしてくださる姿を見かけ、先生方の影の力を感じました。感謝申し上げます。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期毎に知らせた。 3:学期間に1回は知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。	2	3:保護者アンケートによる「子供たちにとって分かりやすい授業をしている」への満足度が75%以上					
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%未満の教員が働きかけた。	4	2:保護者アンケートによる「子供たちにとって分かりやすい授業をしている」への満足度が60%以上					
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	3	1:保護者アンケートによる「子供たちにとって分かりやすい授業をしている」への満足度が60%未満					
		児童の図書館利用率をあげ、興味をもてる本を読む。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%未満の教員が働きかけた。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%未満					
		児童の図書活用率をあげ、興味をもてる本を読む。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	4:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が80%以上					
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	3	4:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が80%以上	4	○いじめや問題行動については、当該学年だけでなく管理職、生活指導主任が解決に当たり、スピード感をもって対応できている。また、サポートルーム教員やスクールカウンセラーとも連携し、早期解決に努めている。 ○毎週金曜日に生活指導に関する会議を設け、各学年で抱える問題を共有している。	A	7	・放課後の子供たちを見ていても、仲良くしていますね。 ・こちらの問題でもありますが、今年度は評価できる程把握することが難しい環境でした。大変申し訳ありません。 ・いじめは、子ども・保護者・教師により感じ方が違うため、どこまで共有するのか、できていないのが難しい。 ・心を育てることは大変ですね。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	2	3:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が75%以上					
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%以上					
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%未満					
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。 3:必要な事案に対しておおよそ会議を実施した。 2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をできなかった。	3	1:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%未満					
		生活指導夕食会で支援の必要な児童への適切な対応について共通理解する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんが友達と良い関係を築いている」と回答が60%未満					
プラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	4:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目への満足度80%以上	4	○「密」の状態を避けるべく、休み時間に屋上や体育館を学年ごとに割り当てることで、体を動かす時間と場所を確保できた。 ○毎週火・木曜日の朝の時間はPTAの校庭開放が実施され、児童はすずんで体を動かしている。 ○早寝早起きカードを使い毎学期指導している。調査前に、動画等を用いた食育等指導も行った。 ○学年ごとに、体力テストの好記録を残し、次年度以降に活用することとした。 ○オリハル教育を意識して、今年度も外国の食事を給食として提供した。	A	9	・休み時間の校庭遊び、楽しそうです。 ・コロナで学校が休業中も、早くから校庭開放を始めていただき、さらに朝の校庭開放を行うなど、コロナ対策をした上で、できる限りの対策がありがたいです。 ・コロナ禍で、地域の若者として参加できず残念でしたが、安全を保つことが大事です。道塚だけが楽しんでいるとは思っていません。 ・密にならないようにすることが大変でした。生活環境の変化による児童の体力作りが心配。マスクの着用、家庭での過ごし方など制限による体力の低下を懸念している。
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらった「食育」を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	3:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目への満足度75%以上					
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目への満足度80%以上					
		児童の運動力確保のため中休みの遊びを推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	1:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目への満足度60%未満					
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	3	4:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が80%満足					
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	3:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が75%満足					
プラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	2:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が70%満足	4	○今年度も、毎週木曜日にOJTの時間を確保できた。研究の進捗状況や各教員からの伝達講習の時間とし、学びの機会を確保した。 ○学級担任とサポートルーム教員で定期的に校内委員会を開き、児童への支援の在り方を話し合った。	A	8	・曜日を決めて実施を確実にされていることを評価いたします。 ・OJTが継続できている道塚の先生方の職場の環境が、直接子どもたちの学習環境を向上させていると感じます。 ・先生方が努力されているのが、成果に出ているのを感じました。 ・教職員の方々、一年を通してのご指導をありがとうございます。
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4:月1回以上行った。 3:学期に2~3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。	3	1:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が65%満足					
		木曜日の校内OJTに参加し校内での人材育成に貢献する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「お子さんは楽しく学校で過ごしている」という項目が65%満足					
		教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4:月1回以上更新した。 3:学期に2~3回更新した。 2:学期1回以上更新した。 1:更新しなかった。	4	4:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が80%以上					
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けようとする。	4:毎回情報を提供した。 3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	3	3:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が75%以上					
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	4:学期に2~3回行った。 3:学期1回以上行った。 2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4	2:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が60%以上					
プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	保護者と学校との連携のため学校・学年だより月の25日に発信する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が60%未満	4	○ICT部会を設け、学年の学習の様子を週1回HPに更新した。 ○学校だより、学年だよりの25日発行に努めた。 ○子どもまつりを、PTAと合同で開催し、児童が楽しむ様子が見られた。	A	8	・学校便りをいただき、読ませてもらっています。 ・コロナ禍の中も、昨年度から始まったHPの「道塚小学校日記」そして学年ごとの「児童の様子」で、学校からの情報は大変分かりやすかったです。頻りに配信を続けていることは簡単ではないと思いますが、これからも期待しています。 ・今年度は学校長の牽引力と直接のやりとりの中、「学校支援地域本部」の活動が生きていると感じています。 ・コロナ禍の中で、学校では密を避けているが、公園・マンション内では大声を出して遊んでいる。元気に遊んでいるのは望ましいが、もう少しの間、指導が必要かと思えます。 ・一年を通して交流する機会がなくて残念でした。 ・コロナ禍において例年の活動が滞る状況があり、地域の力が及ばない一年であった。来年度は様々な状況を鑑みながらワークショップなど子どもたちの活動の充実を協力したいと思います。 ・昨今のコロナ禍におきまして、多くの制約・注意事項・留意点等がある中、校長先生はじめ教職員の皆様の本校学校教育および児童の健康・健全育成に対する月並みならぬご努力ご尽力は、地域の者として感じています。 ・今後も、学校・PTA・町会・地域住民一体となったより良い道塚小学校を期待いたします。
		子どもまつりとPTA連携行事を合同で実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が60%未満					
		子どもまつりとPTA連携行事を合同で実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が60%未満					
		子どもまつりとPTA連携行事を合同で実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。	4	1:保護者アンケートによる「情報の発信や教育活動の説明」への満足度が60%未満					

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である